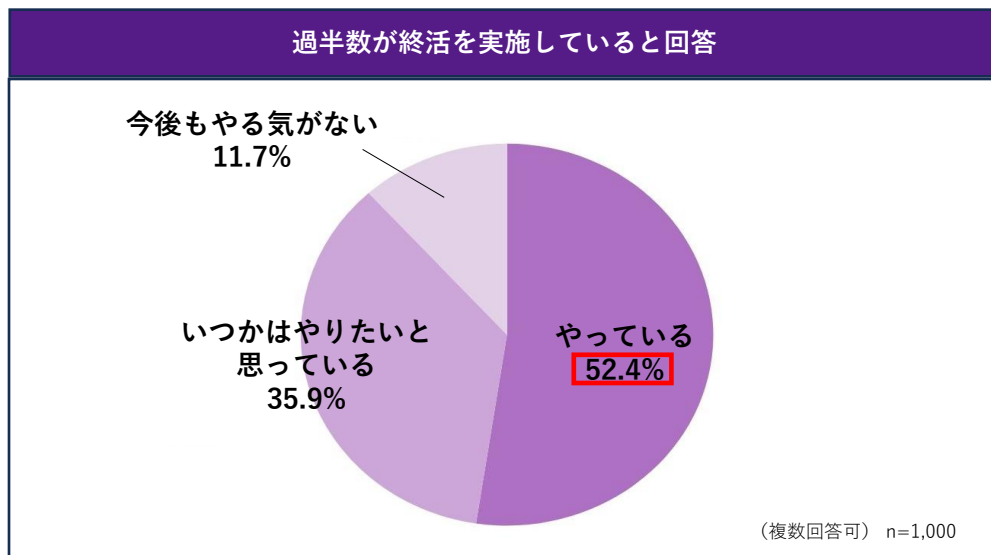


ドラマで注目が広がる「おひとりさま終活」 誰もおひとりさまになりえる中、 半数以上が終活を行っていると回答！

孤独死や保証人不在など、
“ひとりで生きる備え”としての終活に関心集まる

全国どこでも安心・安全に、そして後悔のないお葬式やライフエンディングを迎えられる世の中を目指し、トータルサポートを提供する、燦ホールディングス株式会社（東京本社：東京都港区、大阪本社：大阪市北区、代表取締役社長：播島聡、東証プライム：9628）は、「ライフエンディング」に関する調査リリースを発表しました。



今回の調査では、ドラマなどで注目が高まる「おひとりさま終活」をテーマに、家族構成別の終活の違いや、不安に感じていること、実際の取り組み状況などを分析。その結果、終活は“死に対する準備”ではなく、“今とこれからの暮らしに備える行動”へと変化している実態が明らかになりました。

<調査サマリー>

①過半数が終活を実施していると回答！

おひとりさまは「断捨離」「情報収集」「金融機関への相談」「年賀状じまい」が上位に。

家族がいる人は「老後資金の検討」も上位に入り、“これからの暮らし”を見据えていると判明。

②8割以上がライフエンディングに不安を抱えていると回答。

「認知症」「老後資金」「体力の衰え」など健康と経済への不安が上位に。

③高齢単身世帯の増加について気になること1位は「孤独死」

また、「高齢者の保証人問題」や「社会的な孤立」も上位に挙がり、

“亡くなり方”だけでなく“ひとりで生きること”への不安が広がっていることが明らかに。

■「第6回 ライフエンディングに関する意識調査」概要

調査期間：2025年3月3日～8日

調査方法：インターネットによるアンケート調査

調査対象者：首都圏(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県)、近畿圏(大阪府、京都府、兵庫県、奈良県)で喪主もしくは葬儀を執り行った経験のある40～70代の男女

回答者数：1,000名

調査主管：燦ホールディングス株式会社

調査結果をご紹介いただく際は【燦ホールディングス「ライフエンディングに関する意識調査」より引用】と注釈をご記載ください。

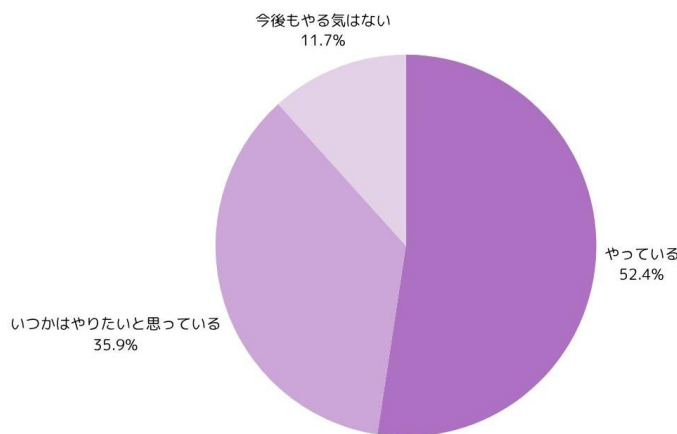
① 過半数が終活を実施していると回答！

おひとりさまは「断捨離」「情報収集」「金融機関への相談」「年賀状じまい」が上位に
家族がいる人は「老後資金の検討」も上位に入り“これからの暮らし”を見据えていると判明

Q1.ご自身でライフエンディングに向けた準備（終活）でしていることをお聞かせください。※複数回答 n=1,000

葬儀を執り行った経験のある40～70代の男女に、ライフエンディングに向けた準備（終活）に関して聞いたところ、52.4%と過半数が行っていると回答しました。

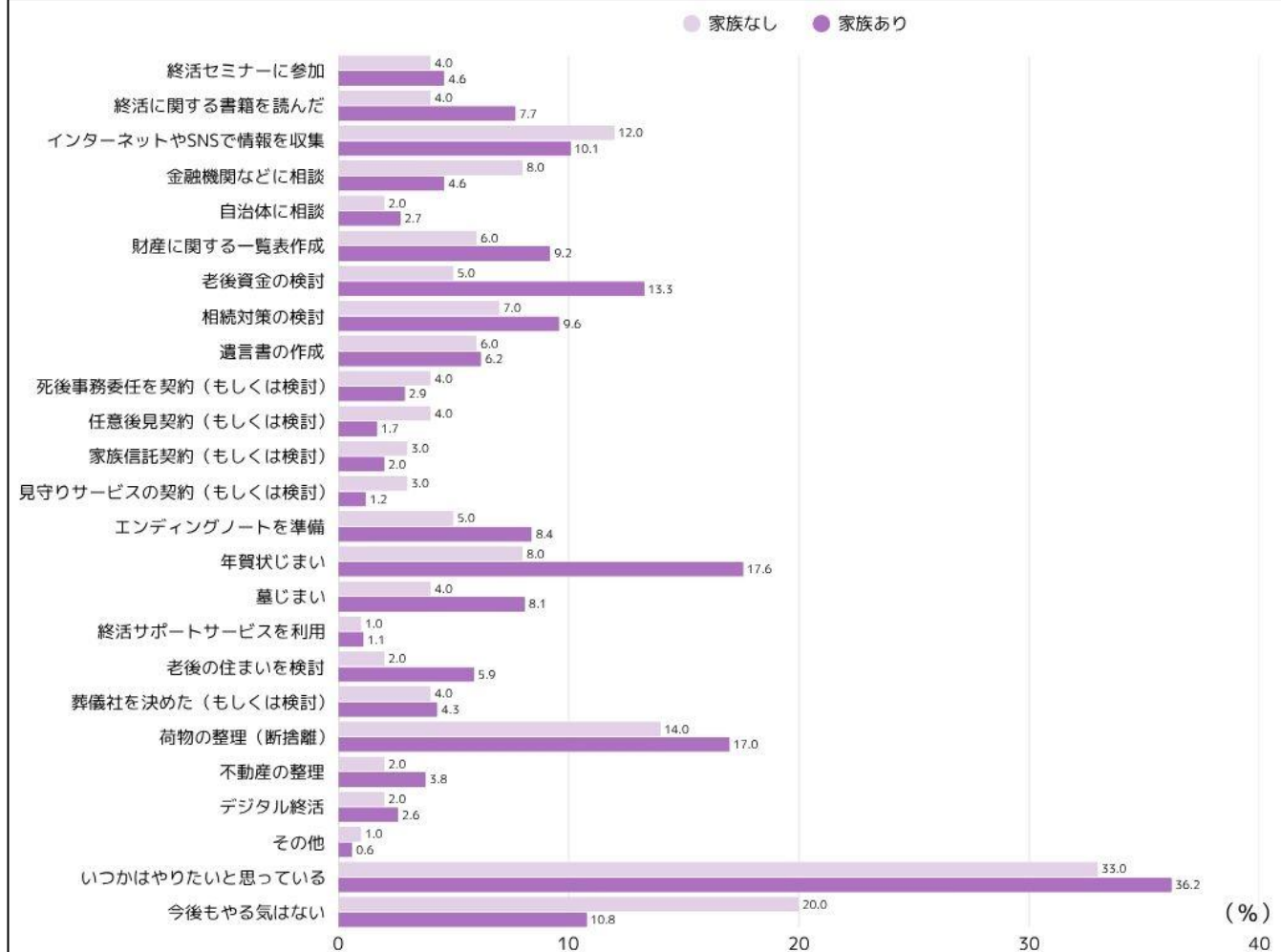
また、終活の実施内容については、おひとりさまと家族がいる方（同居かは問わない）といった家族構成によって傾向の違いが見られました。



おひとりさまは、「荷物の整理（断捨離）」（14.0%）、「インターネットやSNSで情報を収集」（12.0%）「金融機関などに相談（8.0%）」「年賀状じまい」（8.0%）の順に多く、“今できること”に重点を置いた準備が多く選ばれています。

一方、家族がいる人では、「年賀状じまい」（17.6%）、「荷物の整理（断捨離）」（17.0%）が1,2位で、ここまではおひとりさまと傾向が近いものの、3位に「老後資金の検討」（13.3%）がランクインする結果となりました。

「老後資金の検討」については、おひとりさまで実施している方は5.0%のみとなっており、家族がいる方と比較し、8.3ポイントの差があります。家族がいるの方が、将来の生活設計や家族との暮らしを見据えた“将来設計型”の終活に重きを置いていることがわかります。

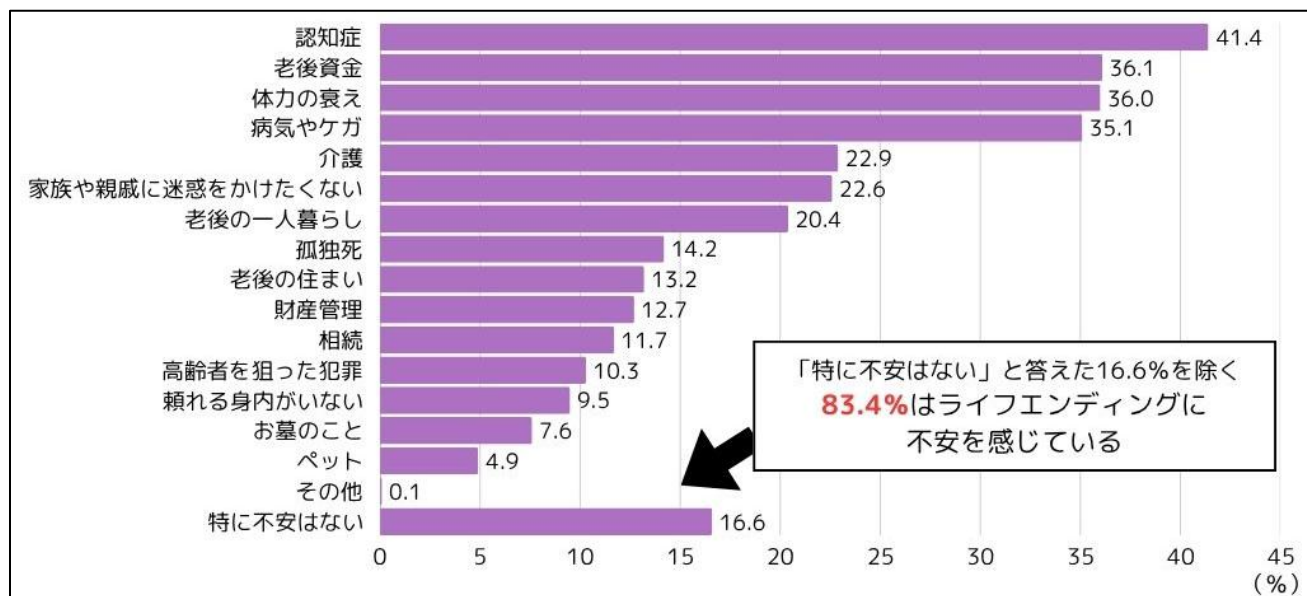


② 8割以上がライフエンディングに不安を抱えていると回答。

「認知症」「老後資金」「体力の衰え」など健康と経済への不安が上位に。

Q2. ライフエンディングに向け、不安に思っていることをお聞かせください。（複数回答可） n=1,000

ライフエンディングに向けての不安を聞いたところ、ライフエンディングに不安を感じている人は83.4%と非常に高い結果に。「認知症」（41.4%）「老後資金」（36.1%）「体力の衰え」（36.0%）などが上位に挙がり、健康・経済面の不安が多いと分かりました。



③ 高齢単身世帯の増加について気になること1位は「孤独死」

また、「高齢者の保証人問題」や「社会的な孤立」も上位に挙がり、

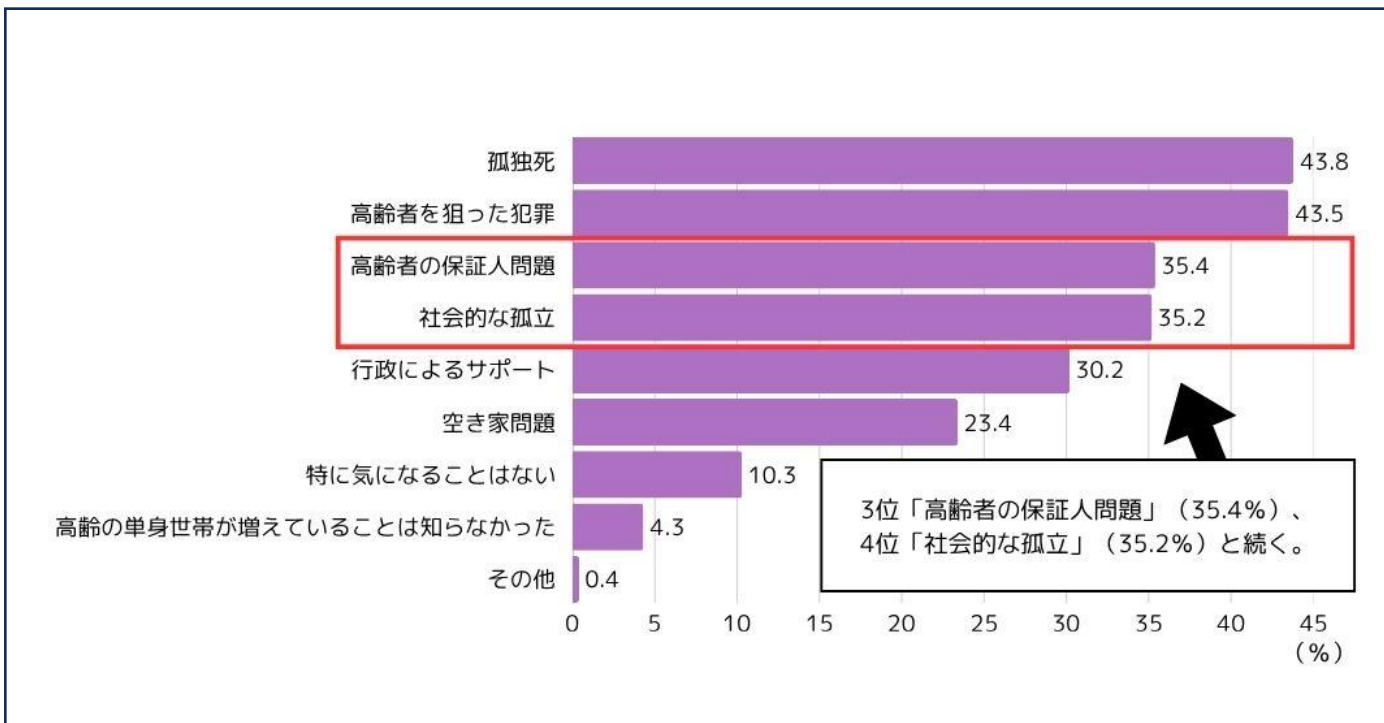
“亡くなり方”だけでなく“ひとりで生きること”への不安が広がっていることが明らかに。

Q3. 高齢の単身世帯が増えていることで気になることをお聞かせください。（複数回答可）n=1,000

具体的に気になることとしては、1位が「孤独死」（43.8%）、2位「高齢者を狙った犯罪」（43.5%）、3位「高齢者の保証人問題」（35.4%）、4位「社会的な孤立」（35.2%）と続きました。

3位の「高齢者の保証人問題」については、入院や介護施設の利用時には“身元保証人”が求められるケースも多く、頼れる家族がいないことで適切な医療や介護サービスを受けられない懸念があります。また、賃貸住宅の契約更新、銀行口座の開設・変更、携帯電話の契約など、日常の些細な場面でも“保証人不在”がハードルになることがあります。

こうした課題は、おひとりさまに限った話ではありません。今は家族がいても、将来“ひとり”になる可能性は誰にでもあります。だからこそ、「そのときの備え」がすべての人に求められています。「最後をどう迎えるか」だけでなく、「誰に相談できるか」「どう安心して日常を送れるか」といった、“生きている今”への不安が静かに広がっていることが読み取れます。こうした背景の中で、終活は「死に対する準備」だけではなく、「ひとりで生きることへの備え」としても重要な意味を持ちはじめています。



公益社が提供するひとりで生きることへ備えるサービス「喪主のいないお葬式®」について

【商品概要】

“周りに負担をかけたくない、頼れる人がいない”という想いを抱える方にとって、もしもの備えは大きな悩みです。『喪主のいないお葬式®』は、そんな不安を抱える方に寄り添い、生前のうちから葬儀や供養、死後の手続きまでをしっかりと準備しておくことで、安心して人生の最終章を迎えられるよう支援するサービスです。

- ◆商品名：喪主のいないお葬式®
- ◆販売エリア：首都圏（東京・神奈川・千葉）、近畿エリア（大阪・兵庫・奈良）
- ◆販売会社：公益社 ※グループ各社の営業エリアにも順次拡大予定
- ◆商品ラインナップ：以下の公益社が提供するサービスと行政書士・司法書士などが提供するサービスを組み合わせて利用。
- ◆URL:<https://www.koekisha.co.jp/service/before/solo/>

公益社が提供するサービスと行政書士・司法書士などが提供するサービスを組み合わせてお選びください。

公益社が提供するサービス	家族葬プラン	一日葬プラン	火葬プラン	行政書士・司法書士などが提供するサービス	安心安全プラン	ベーシックプラン	ライトプラン
● 枕飾り ● 安置室使用料 ● 寝台車 ● 本骨造 ● 棺 ● 柩子	○	○	○	● 任意後見契約 ● 死後事務委任契約 基本セット (死亡届、喪主代行、死亡地(病院など)の私物搬入・搬出)	○	○	○
● 葬壇 ● ドライアイズ ● 中階後飾り ● 会館使用料 ● 白木位牌 ● 霊柩車 (30kmまで、超過する距離は追加料金が必要です。)	○	○	—	下記の中から★3つまでお選びいただけます。 (★1つにつき50,000円で追加契約可) ● 遺言書作成サポート 基本料金(★★★) ● 納骨・永代供養に関する手続 基本料金(★★) ● 施設又は自宅の搬入に関する手配 基本料金(★★) ● 葬儀死直書公正証書作成 基本料金(★) ● 医療費等の清算・公共料金等の支払い 基本料金(★) ● 関係者への連絡 基本料金(★) ● 行政手続届出 基本料金(★)	○	○	—
● 告別式サポート ● 遺影写真 ● 通夜サポート	○	—	—	● 身元保証人サービス 基本料金 ● みまもりサービス 基本料金	○	—	—

その他終活サービス(公益社がご案内するサービス)

- ホームセキュリティ ● 家事代行・ハウスクリーニング ● 生前整理 ● 不動産リフォーム・売却・活用 ● 高齢者住宅紹介 ● ライフプランニング ● 相続対策
- 法要・冠礼品 ● 私・他・位牌の修復・洗浄・処分・買い替え ● 手元供養 ● 墓じまい・改葬・墓地購入 ● 樹木葬・散骨の手配・代行 ● 通品整理・買取

※お申し込みには審査があります。審査の結果、契約を見送らせていただく場合があります。
※お葬儀は公益社が主催する葬儀となります。
※契約者様の状況によっては、遺言書の作成(訂正)送付が必要になる場合があります。
※付加サービスは、別途料金がかかります。
※契約者様の二重葬の状況によっては、生前にご希望されていた葬儀の葬儀執行・死後事務委任契約が後継になる場合があります。その場合は葬儀社・死後事務委任受任者の双方で協議し、対応を決定いたします。
※葬儀の全額前払いに限り、お葬儀のご希望で葬儀執行の滞りや発生する場合は、いかなる理由も責任を負いません。前払いの追加費用発生を行う場合があります。
※公益社が提供するサービスにおけるプラン・価格は一括金払の場合です。入金後が別途発生する場合があります。
※「公益社がご案内するサービス」は、公益社の関連企業や関係者がサービスを提供いたします。

【葬儀のプロからのコメント】 ライフエンディングの今とこれからについて

大坪康介（公益社 企画部 企画課長）

□経歴

2001年 株式会社公益社入社 営業部（現セレモニーサービス部）に配属

2020年 株式会社公益社 企画部に異動

入社から19年間は、セレモニーサービス部（営業）で、大阪・兵庫・奈良の現場でお客さまと直接関わり、その後、大阪本社の企画部で商品開発を中心に、予算策定・業績進捗管理等を担当している。

□コメント

調査結果では、「老後資金の検討」について、おひとりさまよりも家族のいる方の実施率が高いという点
が印象的でした。終活は、自分のためだけでなく、誰かのことを思いながら行うものなのかもしれません。
また、「おひとりさま終活」に関するセミナーや個別相談の場では、「身元保証人サービス」に対する反
応が最も多く見られました。「いざという時に頼れる先、任せられる相手が欲しい」と考えている方が多
いようです。おひとりさまの終活においては、「最後をどう迎えるか」だけでなく、「老後資金」や「保
証人問題」など、生きていく上での支援も含めた備えが必要です。どれだけ綿密に終活をしていても、そ
の実効性が担保されていなければ、すべてが無駄になってしまうこともあり得ます。専門家を交えた相談
を常におすすめています。



■会社概要

燦ホールディングスグループは、東証プライム市場に上場する全国展開の専門葬儀事業者であり、葬祭業界のリーディングカンパニーとして、90年以上にわたり人の「最後」と真正面から向き合ってきました。私たちは“まごころ”をもって故人をお見送りする時間を大切に、シニア世代とご家族の一人ひとりの人生に寄り添いながら、葬儀は人生の最終章を締めくくるかけがえのない儀式だと伝えたいと考えます。また、ライフエンディングに対する啓蒙にも積極的に取り組み、ご本人とご家族が安心して最後を迎えるための準備を、社会全体で支える未来を目指しています。

これからも、人生100年時代を生きるすべての人にとって、「最後の時間が愛と敬意に包まれる社会」の実現に貢献してまいります。

企業名 : 燦ホールディングス株式会社
東京本社 : 東京都港区南青山1-1-1 新青山ビル西館14F
TEL:03-5770-3301 (代表) FAX:03-5770-3302
大阪本社 : 大阪市北区天神橋4-6-39
TEL:06-6208-3331 (代表) FAX:06-6208-3332
設立 : 1944年(昭和19年)10月2日(創業1932年8月)
資本金 : 25億6,815万円
従業員数 : 47名(単体)、709名(連結)(2024年3月末現在)
事業内容 : 持株会社事業、不動産事業、管理業務受託事業
主要取引銀行 : 三井住友銀行、三菱UFJ銀行、三井住友信託銀行、みずほ銀行



燦ホールディングス株式会社
SAN HOLDINGS

【燦ホールディングスグループ】

持株会社事業、不動産事業、管理業務受託事業

・燦ホールディングス株式会社

葬祭事業およびライフエンディングサポート事業

・株式会社公益社 ・株式会社葬仙 ・株式会社タライ
・株式会社きずなホールディングス ・株式会社家族葬のファミリーユ
・株式会社花駒 ・株式会社備前屋

葬祭関連事業およびライフエンディングサポート事業

・エクセル・サポート・サービス株式会社 ・ライフフォワード株式会社 ・株式会社クニカネクスト

<https://www.san-hd.co.jp/about/group.html>